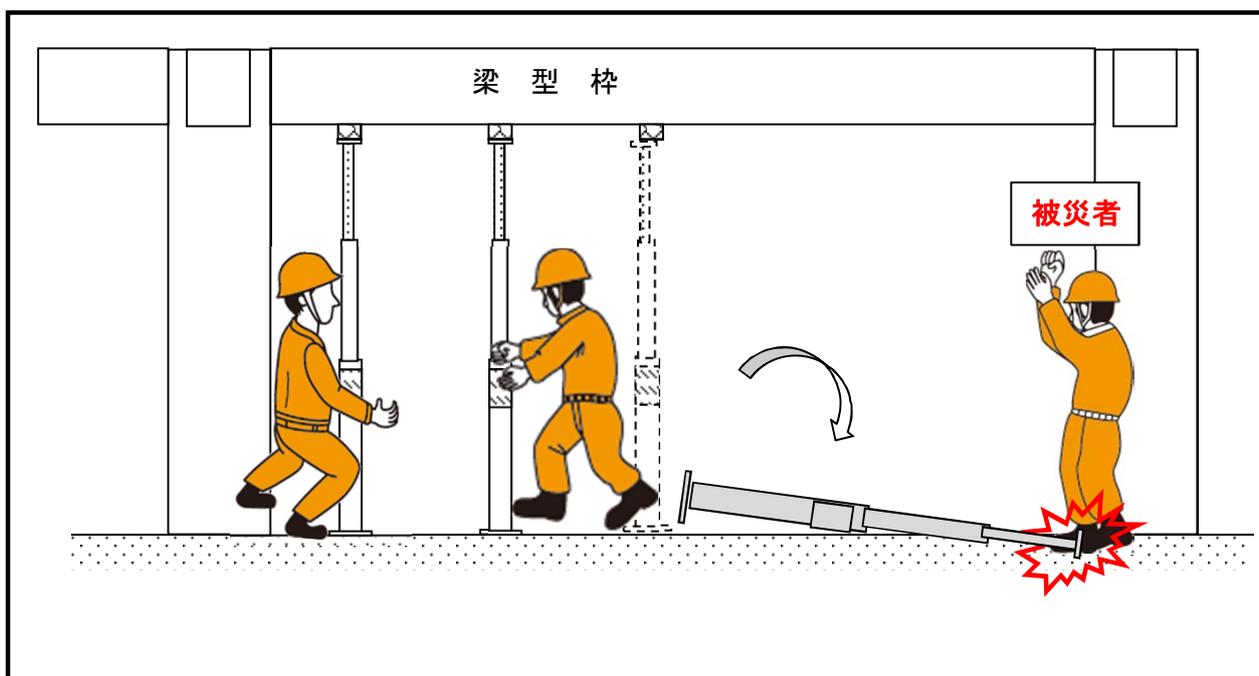


## 『梁型枠設置中、パイプサポート外れて倒れ左足負傷』

発 生 年 月 平成 年 6月  
時 刻 14:50頃  
被 災 者 大工(62歳-1次)  
傷病名・部位 左足背挫創兼挫傷 (休業30日)

- ◎ 発生状況
1. 新築工事で被災者は、同僚と工事現場の2F床梁型枠組立作業に従事していた。
  2. 14時50分ごろ、梁型枠をクレーンで吊上げ所定の位置へ旋回し、梁型枠を吊下げてパイプサポートで受けて固定するときに、梁型枠が垂直に収まってなかったため、調整を行おうと梁型枠をクレーンで少し吊上げた。
  3. このとき、パイプサポート頭部が梁型枠底部とのつなぎ釘から外れて倒れ、パイプサポート頭部が避け損ねた被災者の左足背部を強打し負傷した。

## ◎ 被災状況



## ◎ コメント

- ・梁型わくの微調整を行うときの作業手順を定める。
  - ①サポートの一次撤去後、吊荷落下半径より退避し、梁枠を吊り上げる。
  - ②サポート支保工設置後、滑動防止措置(根がらみ等)を行う。
- ・安全靴を着用すること。(降雨のため長靴に履き替えていた)